



十勝川治水100年
トークリレー 100年
⑭

十勝川治水100年の地域連携事業では、子どもたちに親水、水難事故防止、不法投棄抑止のための知識や技術を楽しみながら伝えることを重視しています。

私たちは、「楽しい」をキーワードに、さまざまな体験を提供しています。子どもたちが遊びながら学べるよう、ナイトクルーズキャンプ、週末リバースクールなどを企画しています。その企画には水難事故防止のための技術や知識が身に付く体験が盛り込まれていて、子どもたちは楽しみながら安全な行動の重要性を学んでいます。

十勝川治水100年記念事業

トークリレー



帯広NPO28サポートセンター
理事長 千葉 利光 氏



十勝毎日新聞
令和5年7月21日 3面 掲載

帯広NPO28サポートセンター理事長 千葉利光氏



楽しく学ぶ活動を展開

や、網で魚を捕る「ガサガサ」、トやプロジェクトが行われて水切りを中心に自由な活動を行なっています。また、これらの企画は通年行われており、春夏秋冬それぞれの季節の「川」で子どもたちは体験活動を行っており、「川」への理解を深めています。

私たちの目標は、子どもたちを中心に地域全体で川の大切さを理解し、その豊かな自然環境を守り育てることです。楽しみながら学ぶことで、子どもたちは自然とのつながりや責任感を育み、将来の地域のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。河川教育は、すぐには結果は出ないかもしれませんが、長期的に見たときに、川に関心のある大人が増えることにつながります。川を愛し、守る意識を持った子どもたちが育つことで、十勝川の治水と地域の発展がより一層進むことでしょう。

◆ 十勝川の治水事業は今年、100周年の節目を迎えた。治水事業と関わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを紹介する。
(随時掲載)